



2026年2月2日

**防火設備に対応し、最大耐風圧(負圧)2400Paの強度を確保
高耐風圧窓シャッター「マドモア耐風ガード」が
「防災・減災×サステナブル大賞2026」で奨励賞を受賞**

三和シャッター工業株式会社(本社:東京都板橋区/社長:高山 盟司)の高耐風圧窓シャッター「マドモア耐風ガード」が、一般社団法人減災サステナブル技術協会が主催する「防災・減災×サステナブル大賞2026」で奨励賞を受賞しました。

「マドモア耐風ガード」は、台風による甚大な被害に対応するため、従来品の約3倍となる最大耐風圧(負圧)2400Pa^{※1}(風速88m/秒に相当^{※2})の強度を業界で初めて^{※3}確保した、高耐風圧窓シャッターです。窓シャッターの主用途である防犯効果に加えて高い耐風圧性能も備えているため、強風時の飛来物から人命や住まいを守ります。また、防火性能も確保しているため、防火設備の設置が義務付けられている延焼の恐れのある部分の開口部にも設置可能です。さらに、土間納まりやバルコニーへの設置を可能にしたタイプもラインアップしています。

三和シャッター工業は安全・安心・快適を提供することにより社会に貢献するという使命のもと、お客様の多様なニーズにお応えするとともに環境に配慮した商品の開発を通じてサステナブルな社会の実現を目指してまいります。



※1 スクリーンG IIタイプ TW≤2300mmの場合。

※2 風速は負圧2400Paを正圧4800Paに換算し、ベルヌーイの定理を用いて算出した参考値です。
実際の気象条件下では建物の向き、高さ、形状、地域等の条件により異なります。

※3 2020年7月発売時点。当社調べ。

◆受賞商品:高耐風圧窓シャッター「マドモア耐風ガード」の特長

- ①高い耐風圧性能(2400Pa(負圧))を確保
- ②高耐風圧性能に加え防火性能も備えたマルチハザード対応商品
- ③マンション／戸建て住宅向けのスクリーンG IIタイプと戸建て住宅向けのスクリーンSタイプの2種類をご用意
- ④スクリーンG IIタイプでは窓シャッターとして業界初^{※4}となる土間・バルコニー納まりの防火認定を取得

※4 2022年5月発売時点。当社調べ。

▼詳しくは、以下のニュースリリースをご参照ください

「マドモア耐風ガード」(2020年7月27日発売) <https://www.sanwa-ss.co.jp/info/000679.html>

「マドモア耐風ガード スクリーンSタイプ 土間・バルコニー納まり追加」(2022年4月4日発売)

<https://www.sanwa-ss.co.jp/info/000968.html>

「マドモア耐風ガード スクリーンG IIタイプ 防火仕様 土間・バルコニー納まり追加」(2022年5月2日)

<https://www.sanwa-ss.co.jp/info/001014.html>

◆「防災・減災×サステナブル大賞」について

今回で第6回目となる「防災・減災×サステナブル大賞」(主催:一般社団法人減災サステナブル技術協会)は、一般社団法人減災サステナブル技術協会が新たに確立した評価手法を以て、防災・減災におけるレジリエンス性、サステナブル性、並びにSDGsへの寄与度の側面から活動および成果、またその貢献度と普及度の実状や期待度合いを評価しています。

一般社団法人減災サステナブル技術協会ウェブサイト <https://ssmartace.or.jp/>